

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上大久保中】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 学習習慣や基礎的な知識が定着していない生徒の割合が大きい。自分の課題を把握し、自己調整学習することが難しい。 <指導上の課題> 学校全体として基礎基本に反復して取り組む授業モデルを確立できていない。	⇒ ICTを用いて、5教科の複数の種類の課題から、生徒それぞれが自分の習熟度に応じた課題を選び自分のペースで学習する時間を設ける。【通年・各学年週1回】 ⇒ 学習習慣と基礎・基本の定着のために、各教科で小テストや基礎・基本の振り返りを定期的に実施する機会を設ける。【通年・不定期】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 基礎基本が定着していないため発展的な問題に取り組めなかったり、形式的なものになってしまったりしている。 <指導上の課題> 習熟度に差がある生徒に対する指導の方法が確立していない。	⇒ 校内研修や校内公開授業を通して、毎回の授業で、前時の振り返り、個人の目標設定、1時間の振り返りを行う統一授業モデルを学校全体、全教科で実施できるようにする。【通年・毎授業】 ⇒ 個に応じた目標を設定し、話し合い活動などを通して生徒が意欲的に取り組めるような授業を展開する。【通年・毎授業】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		① 結果分析(管理職・学年主任等) ② 詳細分析(学年・教科担当) ③ 分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)